



健やかだより

那覇市青少年健全育成市民会議

第73号

発行人

本会議会長 大城明美

TEL 917-3509

ホームページ

那覇市民会議

検索

編集：広報部

那覇市青少年健全育成市民会議 創立40周年記念式典

～令和3年11月27日(土) 沖縄パシフィックホテル～

会長式辞



本日、那覇市青少年健全育成市民会議創立40周年記念式典を挙げるにあたり、那覇市長、市議会議長、教育長はじめ来賓者や多数のご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

那覇市青少年健全育成市民会議は、青少年の健全な成長を願って、昭和56年7月29日に結成され、ここに40周年の節目を迎えることになりました。創立以来、那覇市のご支援と市教育委員会のご指導を受け組織の充実発展に努め、各種の事業を展開してまいりました。

主な活動として、「那覇市少年自然体験の船」については、団員小中学生100人余りの参加者による宿泊研修を行い、青少年の有意義な体験学習の場を提供しております。なほ教育の日関連事業として舞台朗読家を招いての学校公演や、青少年健全育成綱引き大会、やる気・元気旗頭フェスタなどがあります。昨今、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止になった活動もありました。また少年の主張大会について

は、会場での開催はかないままに、原稿審査や動画審査へ開催方法を変更して行うことができました。なお、のちほど、少年の主張那覇地区大会で最優秀賞を受賞した(仲井真中2年)宮城 涼風(みやぎ そよか)さんに意見を発表していただきます。

本日の記念式典において、本会の活動にご尽力とご援助を賜りました29名の方に表彰状を贈り功績を讃えたいと思います。新型コロナウイルスの影響により、欠席されている受賞者の方々もおり、規模縮小となりましたが、式典を開催できますことを大変喜ばしく、ご支援いただいたおりに心より御礼を申し上げます。これからも、関係各位は一丸となって邁進して参ります。

結びに、本日の式典にご臨席をいただきました皆様から感謝申し上げます。



表彰状授与式



来賓者と青少年育成功労表彰者



会長式辞

那覇市青少年健全育成市民会議創立40周年事業への寄付、創立40周年記念誌への広告掲載など、40周年記念事業へ多くのご賛同を賜り、大変感謝申し上げます。記念誌発刊いたしました。



なは教育の日関連事業「整理、片付け」勉強会 開催!

～大人になっても困らないお片付けスキルを身に付けよう～

令和3年12月12日(日) 沖縄電力「カエルぴあ なは」



市民会議 青年部主催による整理整頓の意義を知ってもらおう体験型勉強会が、本年度も沖縄電力様の協力もあり開催することができました。

この勉強会は、市内在住の小学4年生から6年生とその保護者を対象に整理収納アドバイザーによる座学や簡単な調理と片付けを体験してもらおうもので、当日は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、午前・午後の2回に分けて、収納アドバイザーの新垣さやか先生(沖縄片付けlabo所属)から「お片付けって何?」「しまうポイント」等について学び、沖縄電力様のサポートのもと、調理実習や実食、食器類の片付けまでの工程を体験してもらいました。

参加者からは「家でも実践したい」等の声がたくさん寄せられ、とても有意義な勉強会となりました。

新垣さやか先生
(沖縄片付けlabo所属)



座学の様子



親子で調理実習

～参加者の声～

☆ 子ども

- 片付けって難しいものだと思っていたけれど、今日の話を通して、片付けが簡単に上手にできるような気がして自信ができました。
- 片付けの大切さがわかった。
- 今日の勉強はすぐに役立つような内容で、自分のためになったと思います。片付けは未来にもつながる大切なことだと学び、今日やったことを実践していきたいと思いました。

☆ 大人

- 子供と一緒に学ぶ機会はなかなかないので、ありがたいです。調理も家のキッチンでは狭くてなかなか一緒にできないので、とても楽しかったです。
- 子供への声掛けの仕方、ポイントがわかったので良かったです。
- 子供と一緒に日ごろから気になっていた片づけについて学べて、とても有意義な時間でした。

第40回那覇市少年の主張大会参加者

名前	学年	中学校名	タイトル
眞榮城 百佳	3年	安 岡	命どう宝と平和
多和田 真央	2年	首 里	「誇り」あるヒーローへ
山城 奏 太	3年	真和志	一人一人意識を持って
伊敷 紗 弥	3年	石 田	多様性のある社会へ
井 上 鳳	3年	那 覇	陶芸と私
冨里 優太郎	3年	上 山	僕を支えてくれたもの
松田 桃 果	3年	神 原	出来事に込められた「意味」を感じて
花 城 蓮	3年	寄 宮	運は悪くない
高江洲 奈穂	3年	古 蔵	ジェネレーションギャップ
作田 ゆい	3年	小 禄	ルールの向こうへ第一歩
池宮 花音	3年	松 島	自分らしさ
白保 沙也加	3年	城 北	現在の「平和」を疑ってみる
上原 鷺 恵	3年	鏡 原	後悔と人生
宮城 涼 風	2年	仲井真	心で通じ合う
久場 圭 登	3年	金 城	謙虚に隠された自己表現
大城 心 愛	3年	石 嶺	私達にできること
大嶺 来 倫	3年	開 邦	相互理解に向けて

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から原稿審査での開催となりました。那覇市立中学校16校と沖縄県立開邦中学校の代表者17名の原稿を審査員5名で審査しました。

応募してくれた生徒の皆さんの今後の活躍を期待しています。

審査結果は次の通りです。

最優秀賞 石田中3年 伊敷紗也さん
 優秀賞 首里中2年 多和田真央さん
 優秀賞 真和志中3年 山城奏太さん
 優秀賞 仲井真中2年 宮城涼風さん
 優秀賞 金城中3年 久場圭登さん
 優秀賞 開邦中3年 大嶺来倫さん

この上位6名は、9月10日(金)開催の那覇地区大会に出場し、宮城涼風さんが最優秀賞、大嶺来倫さんが優秀賞を受賞しました。那覇地区大会の上位2名は、9月29日(水)にWEB開催された沖縄県「少年の主張大会」に出場し、素晴らしい発表をしました。

今回は那覇地区代表「最優秀賞」に輝いた仲井真中2年宮城涼風さんの意見全文をご紹介します。

第40回「那覇市少年の主張大会」
 令和3年7月8日(木)



心で通じ合う

仲井真中学校 2年 宮城 涼風

最優秀賞

「おばあちゃん、ただいま！」

小学校低学年の頃、外から帰ると、私は真っ先に言っていました。

私は生まれた時から寝たきりの祖母と過ごしてきました。祖母は一日中寝たきりの生活で、誰かの介護がないと寝返りを打つことも食事をとる事も出来ません。小さい頃は障がい者の祖母が居るのが当たり前で、私も積極的に祖母の介護を手伝っていました。

しかし、最近の私は、祖母の介護に関わる事はほとんどありません。なぜなら、小さな脳梗塞を何度も起こし、無表情で、言葉を交わす事が出来なくなった祖母と、どうやってコミュニケーションを取ったらいいのか分からなくなったからです。

「話しかけても何も返ってこないし独り言みたいだ。」私は祖母に話しかける事が恥ずかしいと思うようになっていったのです。

「こんなに近くにいつもいるのに、視線も交わさなくていいのだろうか。」

と想着いても、祖母と目を合わせる事も近づくことも出来なくなっていました。

ある日、介護施設から家に帰って来た祖母を、ベッドに寝かせようと準備をしている母がいました。もう何回も見た光景で見慣れてしまい、その横を無言で通り過ぎようとした私に、母は、「おかえりぐらい言いなさい。おばあちゃんの事、見えてないの。」と、言いました。「見えてるし。おかえり。」私は母の言葉にカッと来て、素っ気なく返してしまいました。

日頃から母に、「障がい者の人は周りの支えが必要だ」と言われてきたのに、私はその介護を両親に任せっきりにし、最低限の挨拶さえ交わさなくなっていたこと

に、気づかされました。「今までなんて酷いことをしてしまっていたんだ。」と湧き上がる後悔の思い。

私はこのままではいけないと思い、母が祖母のリハビリをしている様子を見ていました。最近、骨粗鬆症と診断され、背骨を骨折している祖母は「痛い」と感じると、顔をしかめて大きな声を上げてうなる事があります。それを見て私は気づかされました。

「喋らないおばあちゃんにも、感情はあるんだ。お母さんがおばあちゃんに、いつも話しかけていることは独り言なんかじゃなくて、おばあちゃんは喋らなくても心を通じで感じている。」

私はこの経験から、

「コミュニケーションを取ることは難しくなんかない。『おはよう』の四文字だってコミュニケーションを取る為の言葉なのだから。」と前向きに考えられるようになり、祖母に対する「接しづらい」というイメージも一気に変わったような感覚がしました。

皆さんも私と同じように、どうやって障がい者の方々に言葉を伝えたらいいのだろうと感じることもあるかもしれませんが、うまく話す事が出来なくても、相手の目を見たり、声を掛け続けたりすることで、ちゃんと関わりたいという気持ちを向けることが一番大切な事だと、私は思います。

私はまだ幼い頃のように上手く祖母と話すことができません。でも、相手も感情を持った同じ人間であるという事を自覚し関わろうとすることを意識して祖母に話しかければ、また祖母との距離が縮められると思います。

今日家に帰ったら、ベッドにいる祖母にこう言いたいです。

「おばあちゃん、ただいま！」

令和3年度 第40回定期総会 書面決議で実行

第40回定期総会を令和3年5月11日に予定していましたが、「新型コロナウイルス感染拡大防止」の観点から書面による開催となりました。総会資料を理事、年少協会長、各小中学校PTA会長、各自治会長、各小中学校長等、関係各位へ、4月末に送付し、5月12日までに回答を頂きました。その結果、令和2年度の事業報告、決算の承認、令和3年度の事業計画案、予算案等すべての議案について、承認されました。コロナ禍での皆様のご協力に大変感謝申し上げます。

令和3年度役員

会長 大城 明美
副会長 長堂 和男
" 新川 唯司
" 安室 厚
" 平良 健栄
" 城間 恒浩

「新春朗読会」 in 曙小 令和4年1月

令和3年度の市民会議 家庭教育部主催「新春朗読会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から学校訪問を控え、朗読家熊澤南水先生収録のCD「いのちをいただく(作:内田美智子)」の鑑賞として曙小学校(田場盛博校長)で開催しました。

曙小学校では、6年生が鑑賞し豊かな物語の世界を体験してもらいました。子ども達からは「命をいただいて自分たちが生きているということに気づき、改めて命をいただいていることに感謝した」などの感想を頂きました。とても充実した新春朗読会となりました。ご協力頂きました曙小学校田場校長先生はじめ担当の先生方、誠にありがとうございました。



熊澤南水先生(創立40周年記念式典にて)

ボランティア活動

赤い羽根共同募金

令和3年10月16日(土) 14時~15時
パレットくもじ前広場

今年度も本市民会議は赤い羽根共同募金の活動に参加しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からソーシャルディスタンスを取りながらの募金活動でしたが、赤い羽根共同募金の活動趣旨に賛同頂いた皆さんから

9,061円の募金が集まりました。誠にありがとうございました。善意の募金は、福祉施設や地域福祉団体などの活動支援や被災地支援として有効に活用されます。

市民会議は、「赤い羽根共同募金」の活動を応援し、青少年の健全育成に取り組んでまいります。



市民会議のホームページ
を開設しました。

アドレス
<https://nahashiminkaigi.com>

市民会議

検索

活動内容や募
集等、情報発
信しています。



市民会議 会員を募集しています。

~青少年の育成は市民ぐるみで~

市民会議の活動は、会員の皆様からの会費等で成り立っています。子ども達がたくましく健やかに成長することを願い、今後も様々な活動を展開してまいります。

当会の趣旨にご賛同いただき、ぜひ、多くの皆様の入会をお待ちしております。

市民会議年会費

個人会員	一口	1,000円
法人団体会員	一口	5,000円
賛助会員	一口	1,000円
自治会会員	一口	5,000円
単位PTA	一口	10,000円
問合せ先	TEL	: 098-917-3509
	FAX	: 098-917-3521